

表紙の説明

国営ひたち海浜公園

国営ひたち海浜公園は、茨城県ひたちなか市の太平洋岸にあり、春のネモフィラ、スイセン、チューリップ、初夏にはポピーやバラ、夏のジニア、ヒマワリ、秋にはコキア、コスモス、冬のアイスチューリップなど、彩り豊かな花々が四季を通じて楽しめます。また、海拔100mからの眺望を楽しめる大観覧車をはじめ、ジェットコースターなど多彩なアトラクションが揃う遊園地「プレジャーガーデン」のほか、林間アスレチック広場やバーベキュー広場など、食事・スポーツ・ピクニック・・・遊び方は十人十色。魅力いっぱいの公園で、思い思いの時間をお過ごしください。
(国営ひたち海浜公園公式サイトより)

写真 撮影：押田洋直
#茨城県
#ひたちなか市
#国営ひたち海浜公園
#ネモフィラ

令和6年度調剤報酬改定が与える影響について

保険薬局委員会 担当理事 漆畑 俊哉

会員の皆様、平素より当会運営に関しましてご理解、ご協力を頂き誠にありがとうございます。新年度早々、ご挨拶させていただくことができ、大変嬉しく思います。

さて、今年度はトリプル改定となっており、調剤報酬もそれに応じて大きな変革を迎えていくでしょう。今回の調剤報酬改定では以下の4つのキーワードが重要になりそうです。

- 1) 医療 DX 推進
- 2) 新興感染症対策
- 3) かかりつけ薬剤師実践
- 4) 在宅医療実践

今回の改定項目のほとんどは、この4つのどこかに入ります。さらに、この4つの活動をやっていけば、地域支援体制加算に掲げた10項目についてクリアしていくことに貢献するでしょう。数値はあくまで結果であり、薬剤師のゴールではありませんが、**survive**していくためには、できるところから取り組んでいくと良いでしょう。

振り返れば、昨年度は小田原市立病院の入退院時連携を開始しました。

今後の超高齢化社会では、入退院がますます頻繁に起こりますが、入院時に、在宅でどのような方針で治療が行われ、経過はどうであったのかという情報を薬局が提供する必要がありますし、在宅へ戻るときには退院時共同指導のような仕組みや、在宅での服薬管理・支援が必要になります。改定までに形ができていて良かった事業の一つでした。こちらは引き続き、皆様の更なるご協力を期待しております。

保険薬局委員会では、こういった先進的取り組みや地域支援体制加算の項目をクリアするための様々な研修会や施策を取り扱っています。行政・医療機関・薬局同士など様々な関係を通じ、当地域の薬剤師が高まっていくためのサポートを行うものです。

保険薬局・薬剤師が関わるべきことを一緒に創り上げてくれるメンバーを相変わらず懲りずに募集しています！ご参加希望の方は事務局までご連絡ください。

委員一同、お待ちしております！

令和 5 年度公益社団法人小田原薬剤師会 3 月定例理事会

開催日時：2024.3.6（水） 19：30～20：58

開催場所：小田原市民交流センターUMECO

司会：夏目専務理事

『執行部職務報告』

1～6《渡邊会長》

1. 県西地区第 3 回保健医療福祉推進会議報告

2/8Zoomにて開催され、渡邊会長が出席した。地域医療構想会議として第 8 次計画における基準病床数についての結論をまとめた。「病床利用率」と「平均在院日数」、「県(地域)の数値」と「国告示の数値」で 4 パターンに分類した場合、県西部地域は既存病床数と最も乖離の小さい「パターン 4」が地域の実態に近いと考えられるのでパターン 4 を選択し、またパターン 4 を選択した場合は病床過剰となることから現時点では整備目標病床数は設定しないという事務局案について可決された。令和 6 年度以降の議論の方向性案については、国の検討会では現時点で明確に示されていないが、本県においては「現行地域医療構想の評価」と「2040 年を見据えた地域医療提供体制の構築」を大きなテーマとして議論を進めることについて確認した。

2. 第 10 回小田原市高齢者福祉・介護保険事業推進委員会報告

2/22 小田原市役所にて開催され、渡邊会長が出席した。第 9 期おだわら高齢者福祉介護計画に 11 件のパブリックコメントが寄せられ、そのうち 4 件について政策等に反映し、最終案について確認作業を行った。頂いた意見に対する市の考えは HP で公開する。令和 6 年度地域包括支援センター事業計画等について協議した。12 圏域の包括と保健師・看護師部会、社会福祉士部会、主任介護支援専門員・介護支援専門員部会の 3 部会の次年度の活動について現状を踏まえた上で計画を作成し実行する。

3. 足柄上病院地域医療連携室地域医療支援事業運営委員会報告

2/26 足柄上病院にて開催され、渡邊会長が出席した。足柄上病院地域医療支援事業運営委員会設置、令和 5 年度地域医療支援事業報告、地域医療従事者に対する研修開催実績及び今後の予定、入院時重症患者対応メディエーターについて協議した。メディエーターは重篤な状態の患者および家族に対し、治療方針の説明や意向確認等のサポートを行う。昨年 12 月より対応開始した。再整備事業の進捗について報告があった。2 号館の取り壊し工事に伴い仮設建築物へ一時移転完了した。立体駐車場の入口も変更となっている。

4. 第 9 回新型コロナウイルスワクチン接種打合せ報告

2/27Zoomにて開催され、渡邊会長、市川副会長、石井副会長が出席した。新型コロナウイルス感染症新規感染者数の状況、予約枠の推移と現在の予約状況及び接種状況について説明があった。ワクチン接種については、予防接種法上の特例臨時接種としての取扱いが令和 6 年 3 月 31 日で終了となるので、それに伴う作業について確認した。薬剤師会からはワクチン接種のチラシ 6,000 枚を会員薬局で配架したことを報告した。

5. 第 53 回新型コロナウイルス感染症対策特別委員会報告

3/1Zoomにて開催され、渡邊会長、石井副会長が出席した。地域の状況として、新型コロナウイルスは県内ではXBBが主流であったが、12月からBA.2に置き換わりが進んでいると報告があった。薬剤師会からの情報提供として、鎮咳薬など引き続き入荷が厳しい状況が続いている、インフルエンザ治療薬の一部や抗アレルギー薬等にも入荷の遅れがみられる、4月からコロナ治療薬の補助がなくなるため患者負担が増大する可能性がある」と説明した。

6. 横田俊一郎先生旭日双光章受賞祝賀会報告

3/3 大磯プリンスホテルで開催され、渡邊会長が出席した。約200名の参加で盛会であった。

7～9 《神山常務理事》

7. 小田原市高齢介護課おだわら地域包括ケア推進会議報告

2/15 小田原市役所で開催され、神山常務理事が出席した。地域ケア会議の開催状況と課題について報告があった。「これからの地域福祉を考える～担い手の不足・担い手の疲弊～」について協議した。

8. 県西地区地域包括ケア会議・県西地区在宅医療推進協議会合同会議報告

2/19 小田原合同庁舎とZoomのハイブリッドで開催され、神山常務理事が出席した。県西地区地域包括ケアシステム推進行政担当者会議、普及啓発事業(研修、講演会)、令和6年度の取組について説明があった。「アフターコロナの新たな取り組み等について」「医療介護連携におけるICTの活用について」意見交換を行った。

9. 第2回在宅医療・介護連携に関する検討会報告

2/22 小田原市役所で開催され、神山常務理事が出席した。各種団体の看取りに関する取り組みについて報告があった。ACPの普及啓発ツールとしてお薬手帳を活用したツールについて協議した。来年度早期に今回の議題のACP普及方法(お薬手帳の活用)の期限付き内容について話していく予定。また来年度は「日常の療養支援」情報共有、災害時の支援についても協議する。

『報告事項』

1. 《中谷理事》第16回小田原市自立支援ケア会議報告

2/15 小田原市役所7階大会議室とZoomのハイブリッドで開催され、保坂桂子氏が出席した。3事例について検討し、薬剤師の立場から意見を述べた。過去事例の3件についてその後の経過報告があった。

2. 《漆畑理事》南足柄市第8回自立支援型地域ケア会議報告

2/15 りんどう会館で開催され、漆畑理事が出席した。「地域で身寄りのない方をどう支援するか」1事例について検討し、薬剤師の立場から意見を述べた。地域のリソースを活用した解決策について意見交換を行った。

3. 《漆畑理事》中井町国民健康保険運営協議会報告

2/29 中井町庁舎で開催され、漆畑理事が出席した。令和5年度国民健康保険特別会計補正、令和6年度国民健康保険特別会計当初予算案、第3期データヘルス計画、第4期特定健康診査等実施計画について協議した。

4. 《間宮理事》足柄上地区薬物乱用防止推進地域連絡会報告

2/16 足柄上合同庁舎で開催され、間宮理事が出席した。足柄上地区の薬物情勢、オーバードーズについて報告があった。覚せい剤事犯は減少しているが大麻事犯、若年層の事犯が増えている。暴力団、暴走族からの販売、購入が主なルートである。神奈川県及び足柄上地区における薬物乱用防止対策、令和5年度薬物乱用防止啓発事業実施状況及び令和6年度薬物乱用防止啓発事業計画について協議した。薬剤師会からは今年度の薬物乱用防止の活動状況を説明した。

5. 《神山常務理事》湯河原町在宅医療・介護連携会議委員の推薦について
湯河原町より標記委員の任期満了に伴い推薦依頼があったので、引き続き矢吹光太郎氏を推薦した。任期は令和6年4/1より2年間。
6. 入会者（1名）真壁孝子 開設者・管理薬剤師 真壁薬局
退会者（2名）押田洋直 勤務薬剤師 ひかり薬局本店
榎井民雄 // 湯河原胃腸病院 敬称略
7. MLにて周知
 - ・東海大学医学部付属病院2月試用・採用情報の送付
 - ・第69回小田原医師会感染症研究会について（3/14）
 - ・小田原医師会在宅医療研究会Web講演会（3/5）県薬
 - ・令和6年能登半島地震災害支援活動への協力依頼（第4報）につきまして
 - ・神奈川県の「物価高騰による医療機関等の光熱費等に対する支援」につきまして
8. 会報同封
 - ・足柄上地区在宅医療・介護連携支援センター主催イベント「シネマエデュケーション第2回」チラシ
 - ・認知症フォーラム2024チラシ

『委員会報告』

県薬剤師会

1. 第4回地域・職域薬剤師会会長協議会《渡邊会長》
2/15 神奈川県総合薬事保健センターで開催され、渡邊会長が出席した。夜間・休日の医薬品供給体制について、輪番制・地域支援体制を取っている薬局リストの公開等、地域薬剤師会でどのように住民へ周知していくか意見交換を行った。依頼事項が4件（1.薬物乱用防止啓発教室実施報告書の提出、2.公益目的事業補助金実績報告書の提出、3.くすりと健康相談薬局の新規更新、4.薬局を通じたうつ病啓発活動実施）あった。
2. 第3回研修事業連絡会議報告《市川副会長（地域保健委員会委員）》
2/19Zoomにて開催され、市川副会長が出席した。今年度の共催研修会の開催状況、また地域薬剤師会からのアンケート結果についての報告があった。県薬共催開催にすることのメリット・デメリット、今後の課題等について意見交換を行った。
3. 第3回実務実習委員会報告《夏目専務理事（県薬理事）》
2/13Zoomにて開催され、夏目専務理事が出席した。令和5年度事業の進捗状況と令和6年度の計画、地域薬剤師会実務実習担当者会議について協議した。令和5年度薬局実務実習受入に関する関東地区ブロック会議（1/22 帝京大学）の報告があった。

4. 第2回地域薬剤師会実務実習担当者会議報告《夏目専務理事（県薬理事）》
2/13Zoomにて開催され、土橋理事、夏目専務理事が出席した。実習施設情報入力システム、令和4年度コアカリキュラム改訂対応ガイドライン、県薬・県病薬実務実習担当者と大学との懇談会(1/31)で報告された実務実習後アンケートについて説明があった。地域でハラスメント防止研修会を開催するよう周知があった。
5. 第2回各種委員会委員長会議報告《夏目専務理事（県薬理事）》
2/22 神奈川県総合薬事保健センターにて開催され、夏目専務理事が出席した。広報委員会からホームページの委員会紹介ページの活用依頼、HPパトロールリストの結果、生涯学習委員会から生涯学習認定制度周知のお願い、薬壺編集委員会から薬壺掲載企画に関するアンケートへの協力依頼、地域薬剤師会取材、組織会員委員会から令和6年度トライアルメンバー募集、第1回トライアルメンバー交流会の開催(4/14)について連絡があり、各委員会に共有された。
6. 第4回医療・介護保険委員会報告《夏目専務理事（県薬理事）》
2/29 神奈川県総合薬事保健センターにて開催され、夏目専務理事が出席した。保険薬局ハンドブック2024、居宅療養管理指導マニュアル(第5版)の作成について協議した。日薬学術大会で、医療・介護保険委員会活動の検証として発表する予定であり、調査計画について協議した。
7. 臨時総会報告《石井副会長》
3/3 神奈川県総合薬事保健センターにて開催され、代議員として石井副会長、渡邊敏貴理事、間宮理事、理事として夏目専務理事が出席した。議案第1号:令和6年度事業計画、議案第2号:令和6年度収支予算、議案第3号:令和6年度借入金最高限度額、議案第4号:代議員選挙管理委員会委員の指名について審議され、すべて可決した。事前通告質問・回答集は県薬ホームページ(会員ページ)に掲載してある。役員を選任の改正に係る定款変更、関係規則等の改正について検討状況の報告があり、令和6年度通常総会に議案が提出される予定。

小田原薬剤師会

1. 介護保険委員会

《渡邊会長》●南足柄市認知症地域支援アクションミーティング報告

2/14 南足柄市保健医療福祉センターで開催され、渡邊会長が出席した。行方不明高齢者について毎年数名が亡くなって発見されている状況であり、現在の取組みとしてワッペンを作成し声掛けの目印としていると報告があった。大和市の社会福祉法人徳寿会晃風園 石毛幸子氏による「その人らしさとの出会いによる認知症とともに歩むまちづくりへ」の講演があった。

2. 急調委員会

《渡邊敏貴理事》●小田原・足上1月実績報告

1月は、小田原が処方箋枚数対前年139%、調剤報酬金額143%、足柄上が処方箋枚数137%、調剤報酬金額268%であった。今年はインフルエンザ患者が多い。

●委員会報告

2/21 小田原市保健センターで開催した。3/7 救急医療体制研修会(急調全体会)、3/2 オペレーター研修会について協議した。

- オペレーター研修報告
3/2 小田原急調薬局内で開催した。実際のレセコン(練習設定)で、各班に分かれて実習した。
- 3. 広報委員会
《松岡理事》●会報3月号カラー刷り
令和5年度の記録として、カラー写真を掲載した。
- 4. 保険薬局委員会
《漆畑理事》●リスクマネジメント研修会報告
2/15Zoom ウェビナーにて開催した。「入退院をきっかけとした地域との連携について」として小田原市立病院薬剤科 田中大先生に講演頂いた。73名の参加だった。
●令和6年度おくちのけんこうフェスティバル全体会報告
2/21Zoom で開催され、渡邊会長、漆畑理事が出席した。6/2 テーマ「Love&Teeth～全身の健康はお口から～」でダイナシティウエストにて開催される。薬剤師会は、フロアイベント「おくちとくすり～薬剤師に相談しよう!～」、ステージイベント「おくすり嫌いな君たちへ～薬のプロからの挑戦状～」を行い参加する予定。
●未来薬局プロジェクト研修会報告
2/29Zoom ウェビナーにて開催した。「在宅医療における薬局・薬剤師の役割～お薬の配達とお届けだけではありません～」としてファルメディコ株式会社 代表取締役社長 狭間研至先生に講演頂いた。会員薬剤師95名、非会員薬剤師4名、多職種13名の参加だった。
- 5. 学術委員会
《分部理事》●第3回南足柄げんき計画推進会議報告
2/7 南足柄市保健医療福祉センターにて開催され、荒井監事が出席した。健康増進計画・食育推進計画「第3次南足柄げんき計画」案について前回会議内容とパブリックコメント等の意見を反映した変更箇所について説明があった。第21回健康フェスタ(12/3)の結果について報告があった。
●学術研修会報告
2/8Zoom ウェビナーにて開催した。「パーキンソン病：知っておくべき疾患の特徴と薬物治療の変遷」として医療法人同愛会小澤病院 脳神経内科 荻野裕先生に講演頂き、その後「日常臨床で遭遇するパーキンソン病の課題を再考する」としてディカッションを行った。70名の参加だった。
- 6. 学薬委員会
《古屋理事》●学校薬剤師
小田原市立前羽小学校学校薬剤師に橋詰裕子氏、山王小学校に保坂桂子氏を推薦した。下曾我小学校は人選中である。
《渡邊常務理事》●給食センター見学について
小田原市給食センターが9月に成田に移転し令和7年4月より稼働予定。最新のドライシステムで運用される予定なので、希望者には見学会を考えている。
- 7. 防災委員会
《市川副会長》●仮設救護所設置に向けた第6回打合せ報告

2/13 いそしぎにて開催され、渡邊会長、市川副会長、石井副会長、府川理事が出席した。仮説救護所設置訓練（11/26）後に行ったアンケートから四師会の意見を集約し、小田原市地震災害時仮設救護所マニュアルの完成に向けて検討した。小田原市から令和6年能登半島地震についての支援等について報告があった。

《府川理事》●安否確認システムの登録について

3/31 に訓練を行う予定とシステム登録依頼を3月会報に掲載した。薬局のアドレスで登録している人もいるので、アプリ登録を進めていく予定。

8. 実務実習委員会

《土橋理事》●ハラスメント防止研修会報告

3/5Zoomで開催した。県薬のハラスメント動画を指導薬剤師と視聴し意見交換をした。集合研修で実習生向けにアンケートを集積し、委員会で検討し各薬局に事例として共有することとした。アンケートを確認する事で指導薬剤師の意識改革に繋げる。

『審議事項』 議長：渡邊会長

1. 臨時総会（3/28）議案

《熊井専務理事》●第1号議案 令和6年度事業計画案

令和6年度事業計画案について説明。

《石井副会長》●第2号議案 令和6年度事業予算案

令和6年度事業予算案について説明。

- ・資金調達見込みについて：当期中における借入の予定はない。
- ・設備投資の見込みについて：当期中における重要な設備投資（除却又は売却を含む）の予定はない。

2. 学術委員会《長瀬理事》

●学術大会発表事業、事業計画及び予算案

学術大会発表事業の事業計画及び予算案について説明。

3. 学術委員会《長瀬理事》

●健康フェスティバル等参加事業、事業報告書及び決算書

健康フェスティバル等参加事業の事業報告書及び決算書について説明。

質疑《熊井専務理事》クオカードは何に使ったのか。

回答《市川副会長》小田原の健康フェスティバルで行ったクイズ大会の景品である。

4. 学術委員会《長瀬理事》

●講師派遣事業、事業報告書及び決算書

講師派遣事業の事業報告書及び決算書について説明。

意見《熊井専務理事》補助を出した派遣だけでなく、全ての講師派遣について記載して頂きたい。

《市川副会長》補助をしない派遣の情報が入っていなかったため、来年度から入るようになる。

5. 総務委員会《藤原理事》

●賀詞交歓会事業、事業報告書及び決算書

賀詞交歓会事業の事業報告書及び決算書について説明。

6. 総務委員会《藤原理事》

- 薬物乱用防止啓発活動事業、事業報告書及び決算書
薬物乱用防止啓発活動事業の事業報告書及び決算書について説明。

7. 保険薬局委員会《漆畑理事》

- リスクマネジメント事業、事業報告書及び決算書
リスクマネジメント事業の事業報告書及び決算書について説明。

8. 保険薬局委員会《漆畑理事》

- 未来薬局プロジェクト研修会事業、事業報告書及び決算書
未来薬局プロジェクト研修会事業の事業報告書及び決算書について説明。
質疑《熊井専務理事》参加者の内訳を教えてください。
回答《漆畑理事》会員薬剤師 95 名、非会員薬剤師 4 名、多職種 13 名の参加だった。

9. 保険薬局委員会《漆畑理事》

- 薬剤レビューワークショップ事業、事業報告書及び決算書
薬剤レビューワークショップ事業の事業報告書及び決算書について説明

10. 保険薬局委員会《漆畑理事》

- 医療保険適正化研修会事業、事業報告書及び決算書
医療保険適正化研修会事業の事業報告書及び決算書について説明。

11. 足柄上委員会《間宮理事》

- 足柄上三師会活動事業、事業報告書及び決算書
足柄上三師会活動事業の事業報告書及び決算書について説明。

12. 学薬委員会《古屋理事》

- 小田原市給食センター等食器具類衛生検査事業、事業報告書及び決算書
小田原市給食センター等食器具類衛生検査事業の事業報告書及び決算書について説明。

13. 実務実習委員会《土橋理事》

- 実務実習地域連携室事業、事業報告書及び決算書
実務実習地域連携室事業の事業報告書及び決算書について説明。
質疑《漆畑理事》地域連携室とは何か。
《渡邊会長》元々この事業名か。
《夏目専務理事》予算を立てた時点ではこの事業名だった。地域連携室事業という名称だが、小田原に来ている実習生を集めて研修をすることが地域の連携ということで入っているだけである。
質疑《神山常務理事》聴診器は配布する用買ったのか。
回答《土橋理事》予算が余っていて、バイタルサイン研修をやるために購入した。事務所に置いてある。

14. 急調委員会《渡邊敏貴理事》

- オペレーター研修会事業、事業報告書及び決算書
オペレーター研修会事業の事業報告書及び決算書について説明。

質疑《渡邊会長》開局時間中に開催したのか。

回答《渡邊敏貴理事》開局前の時間に行った。

15. 防災学薬委員会《府川理事》

●小田原市災害時用備蓄医薬品整備事業、事業報告書及び決算書

小田原市災害時用備蓄医薬品整備事業の事業報告書及び決算書について説明。

質疑《市川副会長》来年度早々に開催するのか。

回答《府川理事》複写式の譲渡書ができれば、開催する予定である。

16. 広報委員会《松岡理事》

●インターネット関連管理事業、事業報告書及び決算書

インターネット関連管理事業の事業報告書及び決算書について説明。

17. 広報委員会《松岡理事》

●広告掲載事業、事業報告書及び決算書

広告掲載事業の事業報告書及び決算書について説明。

1～17の審議事項についてそれぞれ満場一致で承認された。

『協議事項』

1. 内部（会員）講師料について《渡邊会長》

外部講師料は資料作成費も込みになっているので、分かり易い。資料作成費は自己申告なので、多めに言ったり、遠慮して少なく言ったりする可能性もある。個人的には会員だからという枠を外しても良いのではないかと思う。

《市川副会長》講師派遣事業に合わせるというのも良いかもしれない。

《渡邊会長》90分話すのであれば対価として20,000円は妥当だと思う。まとめると派遣事業の補助金と見合う形にする。資料作成費や伝達講習の場合など詳細を詰めて、再度提案する。

2. 足柄下郡休日輪番制薬局について《渡邊会長》

湯河原町の担当者に連絡を取らせて頂いた。次の改定でも休日夜間の医薬品の供給体制を薬剤師会が担保することという文言が入っている。その辺も含めて話し合いをしたいと思っている。薬局が開局する事に対して町がフォローアップする必要があるという認識を持っていたかかないといけないと思う。本日は時間がないので継続協議とする。

出席者：石井豊、市川和子、漆畑俊哉、神山綾香、熊井佳子、土橋弘靖、長瀬未季、中谷悦子、夏目善文、府川修、藤原正一郎、古屋恵一、堀内貴仁、松岡永明、間宮律、分部岳、渡邊浩一、渡邊千括、渡邊敏貴（理事19名）

荒井俊明、山崎真弘（監事2名）

オブザーバー：藤本弓恵（広報委員会議事録作成人）

（敬称略・五十音順）

令和 5 年度小田原薬剤師連盟 3 月総務会	
開催日時	2024.3.6 (水) 20 : 58~21 : 00
開催場所	おだわら市民交流センターUMECO
出席者	<p>会 長 : 夏目善文</p> <p>副 会 長 : 石井豊、市川和子、渡邊千括</p> <p>幹 事 長 : 渡邊浩一</p> <p>監 事 : 荒井俊明、山崎真弘</p> <p>会 計 : 熊井佳子</p> <p>常任総務 : 漆畑俊哉、神山綾香、土橋弘靖、長瀬末季、中谷悦子、府川修、藤原正一郎、古屋恵一、堀内貴仁、松岡永明、間宮律、分部岳、渡邊敏貴</p> <p>そ の 他 : 藤本弓恵 (議事録作成人)</p> <p style="text-align: right;">(敬称略・五十音順)</p>
内 容	<ul style="list-style-type: none"> ・守屋てるひこ 推薦企業・推薦団体会議 (2/7 19 : 00 マロニエ) <li style="padding-left: 2em;">総決起大会 (3/3 15 : 00 三の丸ホール) ・県薬連支部長・地域連盟会長会議 (2/28) ・第 19 回総会議案 <ul style="list-style-type: none"> 第 1 号議案 令和 5 年事業報告 第 2 号議案 令和 5 年決算報告 第 3 号議案 監査報告 第 4 号議案 令和 6 年事業計画 (案) 第 5 号議案 令和 6 年予算 (案) 第 6 号議案 その他

委員会からのお知らせ

【保険薬局委員会】

[小田原市立病院との疑義照会プロトコル賛同薬局募集のお知らせ]

この度、小田原市立病院と薬局の負担軽減を目的とした疑義照会プロトコルを開始する運びとなりました。疑義照会プロトコルは薬物治療管理の一環として、調剤上の典型的な変更に伴う疑義照会を減らし、患者さんへの薬学ケアの充実および処方医や調剤薬局の負担軽減を図ることを目的としています。本プロトコルの運用にあたっては、プロトコルの趣旨や各項目についてご理解頂いた上で、合意書を交わすことを必須条件としております。本会では令和6年2月15日にリスクマネジメント研修会として小田原市立病院薬剤部長・田中大先生に本プロトコルの説明を行って頂きました。研修会に参加され、ご同意いただける薬局は下記QRコードの登録フォームよりお申込みください。研修会にご出席できなかった薬局は、本プロトコルの説明書を十分にご熟読の上、お申込み下さい。ご不明点等は小田原市立病院薬剤科へ直接ご連絡くださいますようお願い申し上げます。賛同薬局を取り纏めた上で小田原市立病院と締結いたします。

- * 一次募集締め切りは令和6年4月30日（火）となります。
- * 上記期間にお申込み頂いた薬局は本プロトコルが令和6年5月1日（水）より有効となるように準備を進めて参ります。

一次募集後も賛同薬局の募集は随時行っています。一次募集以降は小田原市立病院薬剤科で受け付けを行いますので直接ご連絡ください。本プロトコルに合意した薬局は小田原市立病院のホームページ上で公開致します。



【実務実習委員会】

[実務実習生集合研修]

今回は指導薬剤師、指導薬剤師を目指す会員も同時に募集致します。当日は実習生とフラットな関係を作るために、お互いをあだ名で呼ぶのが条件になりますので、ご了承ください。

日時：令和6年4月28日(日) 10:00～17:00 (1時間昼休憩あり)

場所：おだわら市民交流センターUMECO 会議室5

講師：実務実習委員会 土橋 弘靖 氏

内容：バイタルサイン総論、実践、明日から使える心電図判読、アンガーマネジメント、薬剤師法第一条、心不全薬の使い分け等。

内容は当日変更になる事もあります。ご了承ください。

定員：10名

参加希望の方は薬剤師会ホームページから登録お願い致します。

URL <https://odawara-pa.com/workshop/>



令和6年3月委員会報告

【学術委員会】3月8日（10名参加）

<報告事項>

1.糖尿病週間行事1日目

小田原市 令和5年10月22日（日）小田原市ふれあい健康フェスティバル

2.一般公開講座

日時：令和5年11月3日（木・祝） 講演：14：00～15：00（受付13：00～）

場所：生涯学習センターけやき

講師：日本栄養精神医学研究会 会長 奥平智之先生

演題：心や身体の健康は食事から～栄養型うつ・認知症・フレイル対策～

健康測定：体組成計、レンタル測定機器

3.糖尿病週間行事2日目

日時：令和5年11月5日（日）12：00～15：00

場所：川東タウンセンターマロニエ

内容：調理実習及び講演会

4.南足柄市げんき計画推進会議

日時：令和5年11月9日

場所：南足柄市保健医療福祉センター

出席者：荒井俊明先生

内容：平成27年度から令和5年度の9年間の健康増進計画・食育推進計画「第2次南足柄げんき計画」最終評価と「第3次南足柄げんき計画（案）」について

5.学術研修会③

日時：令和5年11月26日（日）

場所：Zoom ウェビナー

講師：久保田智樹先生 勝田台クリニック院長

演題：帯状疱疹の知識を深める研修会

単位：G21 神奈川県薬剤師会生涯学習認定制度 1単位

参加者：83名（内訳：県薬43、小田原24、昭和薬科大学5、相談薬局勤務者7、非会員3、トライアル会員1）

※神奈川県薬剤師会、昭和薬科大学共催

県薬の参加申し込みの不慣れなため、登録できなかった方もいた。

6.第2回糖尿病週間行事実行委員会・懇親会

日時：令和5年11月30日（木）

場所：おだわら市民センターUMECO

出席者：市川副会長、田村敦委員、大塚雅史委員

内容：糖尿病週間行事の振り返り。

今年度はダイナシティが予約できずマロニエで実施したが、集客が悪かった。今後はダイナシティの予定で進める。2日目に関し、調理実習が可能な会場の検討が必要。

7.南足柄市健康フェスタ

日時：令和5年12月3日（日）

会場：南足柄市保健医療福祉センター

参加者：市川副会長、國井久加委員、石黒久子委員

おくすり相談：7件

8. 薬物乱用防止研修会

日時：令和5年12月14日（木）19：30～21：00

場所：Zoom ウェビナー

講師：横浜薬科大学 レギュラトリーサイエンス研究室 教授 小出彰宏先生

演題：薬物乱用に関する最近の話題と学校薬剤師による薬物乱用防止教室の進め方

単位：日本薬剤師研修センター 1単位

参加者：69名

9. 学術研修会⑤ セルフメディケーション研修会

日時：令和6年1月28日（日）13：30～16：45

場所：川東タウンセンターマロニエ

講演 講師：ヒロ薬局 塚本久美先生（県薬常務理事）

薬局下曾我くすりばこ國井久加先生とわかば調剤薬局石黒久子先生による「健康測定機器を使用した健康相談会の実例」紹介

SDG 「地域住民の健康拠点になるために実際に健康測定機器を実践して考える」

参加者：16名 →参加者少なかった

共催：神奈川県薬剤師会

10.学術研修会⑥

日時：令和6年2月8日（木）19：30～21：00（講演に先立ちトレリーフ OD 錠の製品説明）

場所：Zoom ウェビナー

講師：医療法人同愛会 小澤病院 脳神経内科 荻野裕先生

演題：パーキンソン病、知っておくべき疾患の特徴と薬物治療の変遷

パネルディスカッション：日常臨床で遭遇するパーキンソン病の課題を再考する

単位：日本薬剤師研修センター1単位

共催：住友ファーマ株式会社

参加者：70名→参加者から分かりやすいと好評で、質問を事前に受ける方法が良かった

<協議事項>

1.来年度の研修会

日時：未定

演題：うつ病の新しい治療法 rTMS（反復経頭蓋磁気刺激療法）治療について（仮題）

講師：NTT 東日本 伊豆病院

場所：Zoom（予定）

単位：日本薬剤師研修センター1単位（予定）

*調整中

2.学術大会発表 未定

3.一般公開講座

日時：令和6年10月27日（日） 講演：14：00～15：00（受付13：00～）

場所：マロニエ202、203、206 定員：100名

講師：松島病院大腸肛門病センター 黒水丈次先生

演題：未定

健康測定

4.薬物乱用防止研修会

県薬学薬委員の藤原先生に、講師の紹介を依頼する

5.学術研修会の候補

- ・ 眼科・整形関連
- ・ 県薬のセルフメディケーション研修会の、妊娠SOSかながわ（助産師）や高校生からの相談（養護教諭）について
- ・ 昨年のかながわ学術大会の国立成育医療研究センター荒田尚子先生のプレコンセプション
- ・ 吸入・インスリンの手技⇒集合研修 富田先生
- ・ 大正製薬「アライ」の説明、肥満予防や未病についての県の取り組み、保健師・栄養士
- ・ 健康測定結果から、勧められる運動 理学療法士・作業療法士・保健師

【保険薬局委員会】3月22日（6名参加）

<報告・協議事項>

1. 令和5年度 各事業完了 報告

令和5年度もすべての事業が完了できた。分業対策事業では入退院連携から小田原市立病院とより高度な連携を図ることができ、地域医療の発展に貢献できた。医療保険適正化研修会は開催されなかった。

2. 小田原市立病院 疑義照会の簡素化プロトコル

当委員会で、疑義照会簡素化プロトコル賛同薬局を募集する。当取り組みによって、小田原市立病院への形式的な疑義照会を減らし、疑義照会時の薬学的重要性を高める目的としている。第1回目募集では多数の申込が予想されることから、小田原薬剤師会がリストをとりまとめ市立病院と共有する。2回目以降は、市立病院と直接契約する。

3. 令和6年度おくちのけんこうフェスティバル事業について

令和6年度おくちのけんこうフェスティバルについて事業説明、当日スケジュール等を打ち合わせた。

<決定事項>

1. おくちのけんこうフェスティバル ステージイベント概要 小児向け服薬支援
2. 疑義照会簡素化プロトコル 内容査読



私の薬剤師人生を変えた本 ～旅の指さし会話帳 mini フィリピン～

みなみぐち薬局 土橋 弘靖

こんにちは！もしかしてまた心電図じゃない…と思った方、安心して下さい違いますよ。今回は医療の勉強という所から外れて薬剤師人生を変えるきっかけになった本の紹介です。

「旅の指さし会話帳 mini フィリピン」

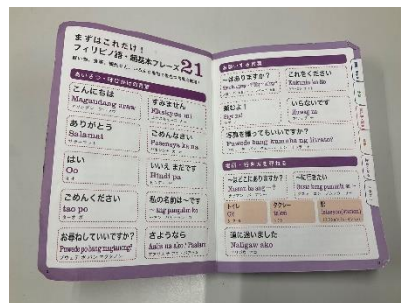
トラベル本ですか…土橋さん何言ってんねんと突っ込まれた方ありがとうございます。この本にはかなりの思い入れがあります。もう6年前になりますが、全く日本語がわからない患者さんが何人かいて(フィリピンから働きに来ている患者さん)、外国人用の投薬冊子なんかあったのですが、いまいちコミュニケーションが取れなくて悩んだ末、自分が母国語のタガログ語を話せるようにする事にしました。

思いついたら簡単で本屋に行き色々悩んだ結果、トラベル用の小冊子を購入。数字、医療、薬の単語と簡単な文法を覚えて使い回す。毎日のルーティンでお風呂で湯船に浸かりながら投薬の練習。発音はネット、YouTube で確認。そしてついに投薬する日が来ました(こままで1ヶ月)。

患者さんは驚いていましたが、投薬後に「ありがとう！」とキラキラした笑顔で言ってくれたのを今でも思い出します。そこからはたくさんフィリピンの患者さんと仲良くなり、「日本に来て母国語で話してくれるのは何よりも安心で、辛い気持ちで病院に来たけど良かった」と言われる事が増えました。またわからない言葉をこちらから相談する事も出来るようになり、こちらが勉強になる事のほうが多かったです。

さて、薬局ビジョンの真ん中に「かかりつけ」があります。このかかりつけを真剣に考えてから、かかりつけ薬剤師契約を患者さんと交わしてもうすぐ4年が経ちます。最初はどやって契約するの？と思っていましたが、自信を持って契約する事で現在自分とのかかりつけ薬剤師契約数は90名を超えました。小田原の薬剤師一人一人がかかりつけ契約数を増やせば地域の健康も維持でき、心不全パネミック等にも立ち向かえろと考えています。薬剤師が出来る事もっとあるはず。また少しずつ進んで行きたいと思います。

ご意見などありましたら是非連絡ください！お待ちしております。sixeye@icloud.com



神奈川県薬剤師会より

【新型コロナウイルス感染症の令和6年4月以降の医療提供体制及び公費支援等について】 3/14

本年3月をもって通常の医療提供体制への移行期間が終了し、本年4月以降、通常の医療提供体制とされます。新型コロナウイルス感染症治療薬については、昨年10月以降は一定の自己負担を求めた上で公費支援が継続されておりましたが、本年3月末で公費支援が終了することとされました。

また、同時期をもって、「新型コロナウイルス感染症の拡大に際しての電話や情報通信機器を用いた診療等の時限的・特例的な取扱いについて」（令和2年4月10日付け事務連絡）（通称0410通知）が廃止されるほか、医療用抗原定性検査キットの薬局販売に係る特例も終了となります（検査キットの取扱いについては別途）。

通知文「20240306業469_新型コロナウイルス感染症の令和6年4月以降の医療提供体制及び公費支援等について」およびリーフレット「新型コロナウイルス感染症 令和6年4月からの治療薬の費用について」は本会ホームページ（会員ページ）お知らせ欄「新型コロナウイルス感染症の令和6年4月以降の医療提供体制及び公費支援等について」よりダウンロードできます。

【医療用抗原検査キットの販売について（その1）】3/15

0410通知の廃止に伴い、新型コロナ対策の様々な特例が廃止となり、「医療用抗原検査検査キット」の薬局販売に係る特例も廃止になります。これはあくまでも「医療用」の抗原検査キットに関してであり、OTC（第1類医薬品）として販売されている一般用抗原検査キットについては、これまで通り販売することができます。

国は「あらかじめの抗原定性検査キットや解熱鎮痛薬の用意等の住民への呼びかけ」を求めており、会員薬局の先生方には、一般用抗原検査キットの販売に積極的に関与していただきたいところであります。

なお、具体的な検査キット（医療用）の取扱いについては、3/27に別途厚生労働省より示されております。

【医療用抗原検査キットの販売について（その2）】3/27

3/14「新型コロナウイルス感染症の令和6年4月以降の医療提供体制及び公費支援等について」で”別途示される見込み”とされておりましたが、令和6年4月以降の医療用抗原定性検査キットの取扱いについて通知がございました。（通知20240326業491_新型コロナウイルスの感染拡大に伴う薬局及び医薬品販売業に係る特例的措置関係事務連絡の廃止について）

この通知によりますと「令和6年3月31日以前に購入した医療用抗原検査キットについては、令和7年3月31日までの間、引き続き販売可」とされています。この他、通知文には廃止となる通知の一覧が記載されております。

【現下の医療用医薬品の供給状況における変更調剤の取扱いについて】3/25

日薬より標記通知が参りました。保険薬局において処方薬の調剤に当たり、医薬品の入手が限定されること等により必要量が用意できないようなやむを得ない状況においては、変更調剤による対応を柔軟に取り扱うこととされておりますが、当面の間の取扱いが示されました。

1. 後発医薬品の銘柄処方において、「変更不可」欄に「✓」又は「×」が記載されていない場合にあっては、患者に対して調剤する薬剤を変更することを説明の上、同意を得ることで、当該処方薬に代えて、先発医薬品（含量規格が異なるもの又は類似する別剤形のものを含む。）を調剤することができる。

2. 処方薬の変更調剤を行うに当たって、以下に掲げるものについては、変更調剤後の薬剤料が変更前のものを超える場合であっても、患者に対してその旨を説明の上、同意を得ることで、当該変更調剤を行うことができる（ただし、規格又は剤形の違いにより効能・効果や用法・用量が異なるものを除く。）

1) 含量規格が異なる後発医薬品又は類似する別剤形の後発医薬品への変更調剤
2) 内服薬のうち、類似する別剤形の後発医薬品への変更調剤がやむを得ない場合であって、次に掲げる分類間の別剤形（含量規格が異なる場合を含む。）の医薬品への変更調剤
ア 錠剤（普通錠）、錠剤（口腔内崩壊錠）、カプセル剤、丸剤
イ 散剤、顆粒剤、細粒剤、末剤、ドライシロップ剤（内服用固形剤として調剤する場合に限る。）（例：アに該当する錠剤をイに該当する散剤への変更調剤）

3. 保険薬局において、上記1又は2の対応を行った場合には、調剤した薬剤の銘柄（含量規格が異なる後発医薬品を調剤した場合にあっては含量規格を、処方薬とは別の剤形の後発医薬品を調剤した場合にあっては剤形を含む。）等について、当該調剤に係る処方箋を発行した保険医療機関に情報提供すること。ただし、当該保険医療機関との間で、調剤した薬剤の銘柄等に係る情報提供の要否、方法、頻度等に関してあらかじめ合意が得られている場合は、当該合意に基づいた方法等により情報提供を行うことで差し支えない。

通知文は本会ホームページ（会員ページ）お知らせ欄「現下の医療用医薬品の供給状況における変更調剤の取扱いについて」よりダウンロードすることができます。

【薬局における感染対策のための指針及び手順書作成の手引き（案）】3/25

日本薬剤師会より「薬局における感染対策のための指針及び手順書作成の手引き（案）」について情報提供がございましたのでご連絡致します。

日本薬剤師会は(1)薬局における感染対策に関する指針の作成、(2)当該感染対策に必要な知識及び技能を習得させる研修教材の作成、に取り組んでおり、今回提供されました「薬局における感染対策のための指針及び手順書作成の手引き（案）」は、成果物の一部になります。薬局での「薬局における感染対策のための指針及び手順書」作成の参考としてご活用ください。

※ 本手引き中の「本文参照」との記載は、現在作成中の事業成果物（1）に該当します。通知文の別紙並びに追ってご案内する指針や研修教材をご活用ください。

「薬局における感染対策のための指針及び手順書作成の手引き（案）」は、本会ホームページ（会員ページ）お知らせ欄「薬局における感染対策のための指針及び手順書作成の手引き（案）」よりダウンロードできます。また通知文 20240321 事務_薬局における感染対策について（情報提供）も同ページよりダウンロードできます。

令和6年4月及びこれからの予定

- | | | | |
|----|--------|---------------------------|------------------------------------------|
| 4月 | 3日(水) | 定例理事会(UMECO) | |
| | 13日(土) | 足柄上三師会総会&研修会(松田町生涯学習センター) | |
| | 14日(日) | 認知症フォーラム2024 | (マロニエ・箱根町老人福祉センターやまなみ荘・湯河原町防災コミュニティセンター) |
| | 26日(金) | 執行部会(栄町事務所) | |
| 5月 | 8日(水) | 定例理事会(UMECO) | |
| 6月 | 2日(日) | おくちのけんこうフェスティバル | (ダイナシティウエスト) |
| | 5日(水) | 定例理事会(UMECO・予定) | |

Re:mail 編集後記

新年度のスタートですね。入学式や入社式等、初々しい姿を見るとこちらも何となく前向きな気持ちになってきます。新たな目標…っていう程ではありませんが、今年は新しくサークルを立ち上げたいと考えています。ご存じの方もいると思いますが、私の趣味はキャンプ！コロナ禍でキャンプブームになりましたが、その以前からやっていて14歳の娘もキャンプ歴10年以上のベテランキャンパーです♪

前置きが長くなりましたが、キャンプに興味がある仲間を集めてゆるい感じのキャンプサークルを作りたいと企んでいるところです。ソロキャン、グルキャン、ファミキャン、デイキャン、好みのスタイルは様々ありますが、ベテランから初心者まで誰でも参加出来る、そんなサークルにしたいと思っています。興味ある方はぜひご一報ください！

そうそう、キャンプの知識は災害時にもきっと役立ちますよ♪新しいギアを買うたびに自分への言い訳にもなります(笑)

じじキャン△

発行 令和6年4月1日 (第532号)

発行所 〒250-0011 小田原市栄町2-13-1 そびそ二宮ビル3F

公益社団法人 小田原薬剤師会 TEL: 0465-23-2658 FAX: 0465-23-4860

E-Mail odawara89314@aioros.ocn.ne.jp

URL <http://www.odawara-pa.com/> (パスワード: odawara)

発行人 渡邊千括

定価 一部150円(税・送料込み) 会員購読料は会費に含まれています

